

2021年度 第1回町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会 議事録

〔日時〕2021年10月6日(水) 18:30~20:00

〔場所〕市庁舎3階 3-1会議室

〔出席委員〕※敬称略

長田(久)、今井、西口、五十子、原口、西嶋、齋藤、老沼、馬場、安達、小澤、長谷川、佐々木
-13名

〔事務局〕

岡林部長、佐藤課長、田中課長、江成課長、青木課長、黒澤課長、菊地原課長、大島係長、犬塚係長、
小澤係長、岡係長、佐藤(里)係長、佐藤(順)係長、板倉係長、近藤係長、橋本係長、皆川係長、
西山係長、小山、矢部

-20名

〔会議の公開・非公開の別〕公開

〔傍聴人〕2名

〔次第〕

- 1 開会挨拶
- 2 会長・職務代理選任
- 3 諮問
- 4 報告
 - (1) 町田市いきいき長寿プラン21-23 市民説明会の実施結果(資料1)
- 5 議題
 - (1) 町田市高齢者福祉計画の2020年度進捗状況評価(資料2)
 - (2) 第7期町田市介護保険事業計画の2020年度進捗状況評価(資料3)
 - (3) 第7期町田市介護保険事業計画における2020年度総事業費等について(資料4)
 - (4) 介護人材マッチングアプリ『まちけあジョブ』等について(資料5)
- 6 答申
- 7 事務局より
- 8 閉会

配付資料

- 資料1 「町田市いきいき長寿プラン21-23」市民説明会の開催について(報告)
- 資料2 町田市高齢者福祉計画2020年度進捗評価結果
- 資料3 第7期町田市介護保険事業計画2020年度進捗評価結果
- 資料4 第7期町田市介護保険事業計画における2020年度総事業費等について
- 資料5 ICTを活用した介護人材就労支援事業

〔内容〕

1 開会挨拶

事務局 定刻になりましたので、ただいまから「2021年度第1回町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会」を開会いたします。

私は、事務局を担当しておりますいきいき総務課長の佐藤と申します。しばらくの間、進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。まず初めに、いきいき生活部長の岡林から、開会のご挨拶を申し上げます。

事務局 いきいき生活部長岡林でございます。本日は、お忙しい中、本審議会にお集まりいただき、心より感謝申し上げます。ご挨拶が遅くなりましたが、今年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。昨年度は、各部会を含め全6回の審議会を経て、「町田市いきいき長寿プラン21-23」の策定を無事完了いたしました。これも、新型コロナウイルス感染症が広がる中、幾度もお集まりいただき、策定に向けて、闊達なご議論を重ねてくださいました委員の皆様のお力添えあつてのことでございます。誠にありがとうございました。今年度は計画の初年度にあたり、現在、計画に基づきさまざまな取組を進めているところです。ここで、計画に関連するイベントを一つご紹介させていただきたいと思ひます。再来月の12月11日（土）に認知症の正しい理解を目的とした、普及啓発イベント「全国×まちだDサミット2021」を開催いたします。3回目の開催となる今回は「“認知症とともに生きるまちづくり”のはじめかた」をテーマとし、全国各地の認知症当事者が参加する初のオンラインでの開催を予定しています。委員の皆様におかれましても是非関心を寄せていただけますと幸いです。本日の審議会につきましては、昨年度までの計画である「第7期介護保険事業計画」及び「高齢者福祉計画」の進捗評価や事業費の実績についてのご報告などを予定しております。限られた時間ではありますが、忌憚のないご意見をたまわり、活発なご議論を重ねていただけますようよろしくお願ひ申し上げます。

2 会長・職務代理選任

事務局 次に、町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会の開催に先立ちまして、本審議会の今井幸充会長より会長職退任のお申し出がありましたため、新たに会長の選任を行います。会長は、町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会条例第5条に基づき、委員の互選により決定することとなっております。つきましては、委員の皆様におかれまして立候補、もしくはご推薦がございましたら挙手をお願いします。

～ 委員からの推薦に基づき長田久雄委員が会長に就任 ～

事務局 続きまして、本審議会の副会長となる「職務代理」の選任に移ります。職務代理は、町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会条例第5条第3項の規定により、会長が指名することとなっております。

長田会長、いかがでしょうか。

～ 長田会長の指名により今井委員が職務代理に就任 ～

3 諮問

事務局

続きまして、本審議会への諮問を行わせていただきます。

本日は町田市長の石阪丈一に代わりまして、いきいき生活部長の岡林より諮問書をお渡しさせていただきます。

～ 以下について諮問 ～

- (1) 町田市高齢者福祉計画の2020年度進捗評価に関する事
- (2) 第7期町田市介護保険事業計画(2018年度～2020年度)の2020年度進捗評価に関する事

※本日の流れ及び資料確認、確認事項～進行を長田会長へ

4 報告

長田会長

改めまして、町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会の会長を務めさせていただきます長田と申します。どうぞよろしく願いいたします。それでは、お手元の次第に沿いまして進めてまいります。まず初めに、報告事項の(1)町田市いきいき長寿プラン21-23市民説明会の実施結果について、事務局より説明をお願いいたします。

※事務局より資料1について、以下のように説明

- ・ 2021年6月27日(日)に「町田市いきいき長寿プラン21-23市民説明会」を開催しました。
- ・ 今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策として、事前申し込み制とし、午前の部、午後の部の2回に分けて実施しました。
- ・ 来場者は午前の部4名、午後の部1名の合計5名でした。当日は台風5号が関東地方に接近していたこともあり、事前の申し込みに対し、実際の来場者が少ない結果となりました。
- ・ 説明後の質疑応答では来場者より「若い世代を町田市に呼び込むための取組も併せて考える必要があるのではないか」、「移動支援を行う地域団体への支援を拡充してほしい」などのご意見があり、事務局にて回答しました。
- ・ 来場者にご記入いただいたアンケートでは「計画策定前にも説明会を実施してほしい」、「計画書に市としての具体的な取組をもっと書いてほしい」などのご意見が寄せられました。
- ・ 市としては今回の実施結果を踏まえ、市民の皆様により広く計画の内容をご理解いただけるよう、市民説明会の周知方法や説明内容の改善に努めていきます。

長田会長

ただ今の事務局からの説明を受けまして、この報告事項について質疑等のある委員は挙手をお願いいたします。

～ 挙手なし ～

皆様よろしいでしょうか。それでは、次の審議事項に移ります。

5 議題

長田会長

それでは、議題の(1)町田市高齢者福祉計画の2020年度進捗状況評価、(2)第7期町田市介護保険事業計画の2020年度進捗状況評価について、事務局から続けて説明をお願いします。

※事務局より資料2及び3について、以下のとおり説明

・ 議題の1、2ともに本年2月に開催した2020年度第4回審議会にて見込値でご報告したものを確定値に更新して報告するものになります。

・ 本日は前回見込値にてご報告したのから修正があったものを中心に説明します。

～ 資料2の説明 ～

・ 町田市高齢者福祉計画進捗状況は「◎(計画以上に進んでいる)」、「○(計画どおり進んでいる)」、「△(計画どおり進んでいない)」の三段階で評価しています。

・ 1ページには事業別の進捗状況を掲載し、集計は2ページに掲載しています。

・ 「◎(計画以上に進んでいる)」が取組数で6つ、全取組の10.2%、「○(計画どおり進んでいる)」が取組数で40、全取組の67.8%となっており、合計46、78.0%の取組が計画以上、または計画どおりに進捗しています。

・ 各指標の実績については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により低下の傾向が見られたものもあるが、全体としては概ね計画どおり進捗しました。

・ 4ページ下段の「短期集中型サービス」及び、6ページ上段の「いきいきポイント制度」は、実績値確定にともない評価を下方修正しています。

・ いずれも新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言発令に伴い、外出やボランティア等の活動が制限されたことが原因となります。

・ 14ページ上段の「家族介護者教室」及び14ページ中段「家族介護者交流会」は、実績値確定にともない評価を下方修正しています。

・ いずれも新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言発令に伴い、開催数や参加者人数が減少したことが原因となります。

・ 基本目標3については実績確定にともない見込値から評価を修正した取組はありません。

・ 基本目標4についても実績確定にともない見込値から評価を修正した取組はありません。

～ 資料3の説明 ～

・ 第7期町田市介護保険事業計画の2020年度進捗評価の総括については、1ページをご覧ください。

・ 全体の総括としては、「◎(計画以上に進んでいる)」が取組数で4つ、全体の10.5%、「○(計画どおり進んでいる)」が取組数で24、全体の63.2%となっており、合計28の取組、73.7%が計画以上、または計画どおりに進捗しています。

・ 介護保険事業計画においても、各指標の実績をみると新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により低下の傾向が見られたものもあるが、全体としては概ね計画どおり進捗しました。

- ・ 5 ページ中段の「短期集中型サービス」及び、6 ページ上段の「いきいきポイント制度」は、実績値確定にともない評価を下方修正しています。
- ・ この2つの取り組みにつきましては先ほど報告した町田市高齢者福祉計画と共通の取組となります。
- ・ 10 ページ上段の「家族介護者教室・家族介護者交流会の開催」は、実績値確定にともない評価を下方修正しています。
- ・ こちらについても先ほど報告した町田市高齢者福祉計画と共通の取組となります。
- ・ 基本目標3につきましては実績値確定にともない見込値から評価を修正した取組はありません。

長田会長

ありがとうございました。

ただ今の事務局からの説明を受けまして、諮問内容でもあります議題の(1)(2)について質疑等のある委員は挙手をお願いいたします。

齊藤委員

新型コロナウイルス感染症の影響で、虐待が深刻化しているのではないのでしょうか。2020年度に何件の虐待があったのか教えてもらえますでしょうか。また、虐待件数を減らすための取組はどうでしょうか。

事務局

地域支援担当課長の青木と申します。2020年度は51件の虐待報告書が提出され、うち42件を認定しました。虐待の防止・発見については高齢者支援センターを中心に情報収集して対応しています。今後は、早期に発見するための取組の強化を考えていきたいです。

齊藤委員

虐待の原因には認知症もあると思います。認知症のケアとなるDカフェなども引き続きやってほしいと思います。

長田会長

ほかにはいらっしゃいますでしょうか。

原口委員

虐待をする側も、される側も、高齢者支援センターだけでは対応できない複合的な課題を抱えているため、障がいセンターや子どもセンターが動く必要があります。どのセンターも人員が厳しいことから、問題が重度になる前に早期に察知する連携が必要となりますが、連携の方法についてどのように考えているのでしょうか。

事務局

地域支援担当課長の青木です。保健所、障がい部門、高齢者部門など、市の組織もそれぞれありますので、各部署と連携を取って進めたいと考えています。

長田会長

ほかはいかがでしょうか。

長谷川委員

基本目標に「安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり」とありますが、介護保険サービスを受けることに抵抗感を持っている方が、少なからずいると思います。そういった方が介護保険サービスを利用しやすくなるような取組が必要ではないのでしょうか。

事務局

介護保険課長の黒澤です。第一号被保険者の方には、「介護保険のしおり」を介護保険料の納入通知書に同封してお送りして、各種介護保険サービスの概要をお知らせしています。また、希望される方には市役所の窓口や高齢者支援センターで「ハートページ」という冊子をお配りしています。この冊子は、図表や分かりやすい表現を用いたカタログ形式になっていまして、デザインもやわらかい印象のものにして、サービス利用につながるように工夫しています。

長田会長

ほかはいかがでしょうか。

小澤委員 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、老人クラブの活動も思うようにできていない状況でありまして、数字に出ている以上にクラブ数の維持が難しくなっています。このような状況下で、老人クラブとしても地域に貢献する必要があると考えており、自分の所属する忠生地区でも、移動支援立ち上げに向け、支援センターや事業所の協力を得ながらテスト運行を行っているところです。これは老人クラブの活動の幅を広げる取組だと思いません。今後も他地域の事例なども見ながら調整を進めていきましたので、市としても取組事例などの情報があれば参考に教えてもらえないでしょうか。

事務局 高齢者福祉課長の江成です。コロナ禍で外出できず人との関わりが希薄になっている状況下において、市としても社会参加を促す取組を進めていきたいと考えています。また、移動支援の必要性についても課題として認識しています。市内では現在 5 か所でボランティアによる移動支援が行われています。立ち上げにあたっては、車両や運転手の確保が課題としてあがっています。以前実施した市内 182 の事業所向けアンケートでは、30 事業所が、デイサービスの空き時間などに車両の提供が可能、10 事業所が運転手の提供が可能と回答いただいています。また担い手となるボランティアの確保・育成のため、2020 年度からドライバー養成研修を実施しています。地域に合った取り組みが進むよう市としてもサポートしていきたいと思えます。

長田会長 ほかはいらっしゃいませんか。よろしいでしょうか。それでは、時間に限りもございますので次の議題に移らせていただきます。続きまして、議題の(3)第7期町田市介護保険事業計画における2020年度総事業費等について、事務局から説明をお願いいたします。

※事務局より資料4について、以下のように説明

- ・ 資料4の項番の1介護保険情報をご覧ください。
- ・ 上段の表は、主に要介護保険認定者数、介護サービス受給者数に関する2019年度と2020年度実績との経年比較です。
- ・ 下段の小さい表は、第7期事業計画値との比較となっています。
- ・ 上段の表からご説明します。基準日は2020年10月1日となります。
- ・ 「実績」と書いてある次の行の総人口は、2019年度と比較すると、2020年度は429,200人で、142人とわずかに増加しています。
- ・ 次の行の第1号被保険者は、115,550人と、1097人増加しています。
- ・ 高齢化率につきましては、27.03%と0.23ポイント上昇しています。
- ・ 第1号被保険者数、高齢化率を見ますと、全体的な人口増減という動きより、65歳以上になる方の増え方の方が大きいという状況です。
- ・ 次に認定者数ですが、要支援者数とありますのは、要支援1と2の合計、同じく要介護者数とありますのは、要介護1～5の合計人数になります。
- ・ 要支援・要介護ともに、2019年度と比較すると、要支援は89人、要介護は356人と増加しています。
- ・ 特徴的な動きとしては、資料にはございませんが2018年度から2019年度にかけては、要支援が512人増と大きなものでしたが、2020年度は89人にとどまっている、

というものです。

- ・ 明確な要因はつかめていませんが、2020年度の10月までの新規申請数がおよそ190件減っている点が影響していると考えられます。推測になりますが、新型コロナウイルス感染症の感染防止などから、介護サービスの必要性、緊急性が低い方などが申請をある程度控えたのではないかと考えています。
- ・ 次に、表の中段あたりをご覧ください。要支援者と要介護者別にそれぞれの介護サービス利用者の推移を示しています。
- ・ 四角い枠で居宅、地域密着、施設と囲んでありますが、居宅とありますのは訪問介護などの居宅サービス利用者数を、地域密着とありますのは認知症対応型デイ等の地域密着型サービスの利用者数を、施設とありますのは特養等の介護保険施設の施設サービスの利用者数を表しています。
- ・ 居宅利用者は2020年度、要支援、要介護を合わせて計が約1万3千人、265人増となっています。
- ・ 地域密着型サービス利用者が約2,400人、施設サービス利用者が約2,900人で、この2つは微減となっています。
- ・ 減となった2つのサービス類型について、まず地域密着型サービスについては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、地域密着型通所介護や認知症対応型通所介護の利用の減少が影響しました。施設サービスについては、市内施設の定員変更が影響しました。2020年4月に市内に1施設だけあった介護療養型医療施設が介護医療院に移行し、この際に定員を170人から110人に減じたことが影響していると考えています。
- ・ 下段の小さな表をご覧ください。この表は2020年度の計画値と実績を比較したものになります。
- ・ 総人口が計画値比でプラス137人、高齢者人口はプラス376人、高齢化率は0.03ポイント増となっています。認定者は345人下回りましたがほぼ想定どおりとなっています。
- ・ 2ページ目をご覧ください、項番2総事業費についてですが、この表は介護サービスの総事業費について、2019年度2020年度2ヶ年の計画値と実績値をそれぞれ比較したものです。縦軸は、主にサービス種別を表し、横軸は、年度ごとの比較を表しています。
- ・ 上から順に大きな区分として、介護保険サービス、介護予防サービス、その他経費と地域支援事業費を表しています。
- ・ その他経費Bとありますのは、介護サービス費以外の高額介護サービス費や高額医療合算サービス費など、利用者負担の補助に関する経費が含まれています。
- ・ 最下段の欄の総事業費をご覧ください。2019年度計画値が334億3,228万3千円に対し、実績値が315億5,848万9千円で、計画値より、約18億円下回り、対計画値との比率では94.4%になります。
- ・ 2020年度は計画値352億6,387万3千円に対し、実績値は322億165万5千円で計

画値を約 30 億円下回り、対計画値比率 91.3%となっています。

- ・ 項目別に内訳を見ますと、2ヶ年とも①の要介護者を対象とする介護保険サービスと B その他の経費、D 地域支援事業費が、それぞれ計画値を下回っています。
- ・ 一方で②介護予防サービスが計画値を上回る結果となりました。
- ・ 要因としましては要支援者の受給者の増加が計画値で想定した人数を上回ったことが考えられます。
- ・ 総事業費に対する執行率は 2019 年度が 94.4%、2020 年度が 91.3%ということで、2020 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けたと考えられる状況のなか全体としては概ね計画の枠内で保険給付を行うことができたと考えています。

長田会長 ありがとうございます。ただ今の事務局からの説明を受けまして、議題の(3)について質疑等のある委員は挙手をお願いいたします。

西嶋委員 新型コロナウイルス感染症の影響で通所サービスなどの給付額が減ったとの説明がありました。これは枠内に収まったともいえますが、本来利用すべき人が利用しなかった部分があると思います。フレイルなどが進んでいるため、掘り起こしが必要だと思います。今後その反動による給付の増加もありえますが、事業費の面ではどのように考えていますでしょうか。

事務局 介護保険課長の黒澤です。第 8 期事業計画の初年度となる 2021 年度の事業費については、給付額が減った一部の介護保険サービスについての予算を削減するといった対応はしていません。引き続き、安心して介護保険サービスを利用いただけるように予算を確保しています。

長田会長 ほかに質疑はよろしいでしょうか。

齊藤委員 市内にはサービス付き高齢者住宅が多くあり、利用者やケアマネジャーの方からは過度なサービス提供を求められるとの声を聞きます。在宅では自分でできることは自分でと頑張ってきたところが、このような施設に入った途端に過剰なサービス提供をされることで一気に機能低下が進んでしまいます。このような過度なサービス提供を行う施設への是正指導のようなものはできないのでしょうか。

事務局 いきいき総務課長の佐藤です。サービス付き高齢者住宅につきましては都への登録制であることから市には指導権限がございません。ただ、過剰なサービス提供によりご自身でできることが奪われてしまうことは問題であると認識しております。市として何ができるとは言えませんが、注視していきたいと考えております。

長田会長 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは次の議題に進ませていただきます。議題の(4)介護人材マッチングアプリ『まちけあジョブ』等についてについて、事務局から説明をお願いいたします。

※事務局より会場モニターにてアプリ画面の投影をしながら資料 5 について、以下のよう

- ・ 昨年度、介護人材に係る 2 つのアプリを作成しました。
- ・ 本件は、2020 年度、東京都の補助金を活用したことに伴い、その内容及び実績について報告するものです。

- ・ ひとつめは、資料左ページに掲載しております、求人求職アプリ「まちけあジョブ」です。
- ・ 主なターゲットは、市内の介護保険事業所での就労を希望する、就職氷河期世代、概ね40代前後の方々です。
 - ～ 会場モニターに「まちけあジョブ」の画面を投影ながら説明 ～
- ・ このアプリの特徴は、求人票をただ掲載するだけではなく、職歴や性格などから、気軽に求人票検索ができる点です。それでは、「性格から検索」を見てみます。
 - ～ 会場モニターにて「性格から検索」機能を実演 ～
 - ～ 検索結果及び該当する求人票を表示 ～
- ・ ここから、該当する求人票を見ることができます。
- ・ 介護の知識がない方には、特に分かりづらい介護施設の種類について、簡単な説明を載せています。
- ・ お仕事の相談・問合せのページに飛べるほか、相談面接会のページに飛ぶこともできます。
- ・ このアプリは、2021年3月に完成しました。ダウンロード数は、2020年度24件でした。また、ラインなどを含めたICTを活用した就労人数は、11名となりました。本年8月末時点では、計163件のダウンロードとなっています。
- ・ 次に、資料5、右側のページをご覧ください。
- ・ こちらは、情報共有・交換アプリ「まちけあトーク」です。
- ・ 市内の介護保険事業所で働く職員や、働きたい市民等を対象としています。
 - ～ 会場モニターに「まちけあトーク」の画面を投影ながら説明 ～
- ・ こちらは掲示板のようなものとなります。
- ・ 大きく分けて、オープントークとクローズドトークがあります。
- ・ オープントークは、誰もが閲覧できる掲示板です。また、アカウントを登録すれば、誰でも書き込むことができます。主に、制度改正などについての情報交換がなされています。
- ・ もう一方は、クローズドトークです。設定したグループのメンバーのみ見ることができます。こちらは、主に、サービス種別ごとの連絡会において、情報共有ツールとして活用されています。
- ・ 本アプリは、2021年3月末に完成しました。2020年度のダウンロード数は5件です。今年8月末時点では、計141件のダウンロードとなっています。
- ・ また、こちらのトークは、アプリからのみならず、ホームページからもアクセスできます。
- ・ ホームページの閲覧数は、参考となりますが、発行元の介護人材開発センターのホームページ閲覧数です。ホームページ改修前の月の閲覧数は1,000程度でしたが、改修後の3月から8月の平均閲覧数は、約9,800となっています。
- ・ 今後は、行政からの情報も掲載していきたいと思っております。

長田会長 ありがとうございます。ただ今の事務局からの説明を受けまして、議題の(4)について質疑等のある委員は挙手をお願いいたします。

五十子委員 まちけあジョブは日本語のみで外国語には対応していないのでしょうか。

事務局 日本語のみの対応となっています。

五十子委員 今後対応する予定はあるのでしょうか。

事務局 今後につきましては検討してまいります。

五十子委員 現在医療の現場で看護助手の方が多く活躍されています。まちけあジョブの性格診断結果が看護助手に対応していませんが、対応予定はありますでしょうか。

事務局 本アプリにつきましては今年3月に完成したばかりです。ユーザーやニーズの分析につきましては今後行っていきたいと考えております。

五十子委員 アプリに関する要望はどこへ伝えればよいのでしょうか。介護人材開発センターでしょうか。

事務局 今の段階ではご意見を承るにとどまりますが、情報共有はさせていただきます。

長田会長 他にはいかがでしょうか。

佐々木委員 コロナ禍において医療と介護の連携の結果、市内に一時療養ステーションができたことを心強く思っています。今後第6波に備えて引き続き取組を進めていただきたいと思います。

長田会長 こちらにつきましてはご意見として事務局で承るということでよろしいでしょうか。

事務局 はい。

6 答申

長田会長 そろそろ会議終了予定時刻が近づいてまいりました。今年度の審議会は本日1回のみということで、本審議会として答申を行うこととなります。本日、委員の皆様からいただいたご意見を反映することを前提といたしまして、また、その反映に関しましては、私と今井職務代理にて確認させていただくことといたしまして、諮問事項であります議題の(1)及び(2)を承認することをもって、本審議会からの答申とすることによりよろしいでしょうか。確定した答申につきましては、事務局を通して委員の皆様へ発送させていただきたいと思います。異議のある場合は、挙手にてお知らせください。

～ 異議なし ～

ありがとうございます。異議なしと認めます。本日の審議事項等は以上になります。それでは、事務局へお返しします。

7 事務局より

※事務局より事務連絡があった。

8 閉会

事務局 本日はこれをもって終了いたします。限られた時間ではありましたが、活発なご意見をたまわり、本当にありがとうございました。